

鹿児島県漁海況週報

令和元年6月20日発行(6月13日～6月19日)
第2809報【旧暦:5月11日～5月17日/月齢9.7～15.7/潮汐:若潮～大潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、6月18日現在、屋久島御崎の北9.6マイル付近にあり、接岸している。

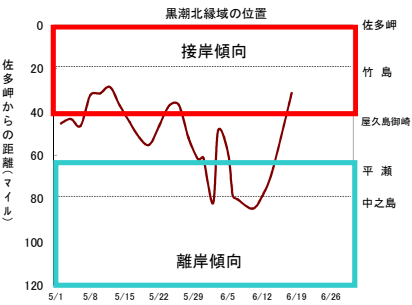
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、6月18日現在、62マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して黒潮流域、鹿児島、佐多岬、竹島、笠利崎で0.1～0.9℃降温し、その他の海域で0.1～3.2℃昇温した。

平年比較では、屋久島御崎、与路島で“かなり高め”，黒潮流域、中之島で“やや高め”，佐多岬、笠利崎で“やや低め”，竹島で“著しく低め”，その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	27.5	-0.1	+0.4	やや高め
鹿児島	23.6	-0.3	+0.2	平年並
佐多岬	23.1	-0.1	-0.6	やや低め
竹島	22.8	-0.9	-1.8	著しく低め
屋久島御崎	26.4	+3.2	+1.2	かなり高め
中之島	27.0	+0.1	+0.5	やや高め
笠利崎	25.1	-0.2	-0.6	やや低め
与路島	26.4	+1.2	+1.2	かなり高め
与論	26.3	+0.9	+0.4	平年並
甕海峡	23.0	+0.5	-0.4	平年並

鹿児島一那覇定期客船観測は6/18-19
串木野一甕定期客船観測は6/19

【漁況】

○定置網

甕島海域では、週計でマサハ(100～500g)が2トン、シラ(1～5kg)が350kgの入網。西薩南部海域では、シラ(2～4kg)が100～600kg/日、カンパチ(1.5～2kg)が100～200kg/日、マルアジ(300g)が100～200kg/日、ハカツオ(1.5～2kg)が1日のみ400kgの入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ゴマサハ(500～600g)が0.4～2.1トン/日、シラ(4kg)が300～700kg/日、ハカツオ(1.7kg)が100～250kg/日、マダイ(400～500g)が1日のみ350kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でイサキ(200～500g)が1.2トン、シマアジ(1.5～1.8kg)が900kg、ゴマサハ(300～600g)が720kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で37統がシラ、カクチイワシ、タチウオ主体に24トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でウルメイワシ、マアジ、カクチイワシ主体に10トンの入網。

○キビナゴ刺網

甕島海域では、6～12箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、1～15箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計で50箱の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2761報)

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期		
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	1	7	甕東	サバ類小60 マアジ小10 サバ類中8	7.0	0	—	4	40
		中	8	34	長島 野間池沖	カクチイワシ54 ヒラ12 マルアジ小7	4.3	14	112	16	118
	枕崎	大	1	18	屋久新	クサヤモロ中86 ソウダカツオ13	18.0	8	180	4	117
		中	6	53	屋久島南 立目崎沖 湯瀬	ゴマサハ中45 マルアジ小21 ゴマサハ豆14	8.8	18	596	8	274
	内之浦	中	0	—			—	0	—	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
計	大	2	25			12.5	8	180	8	157	
	中	14	87			6.2	32	708	24	392	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—			—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	28	22	阿久根沖 長島	カクチイワシ53 ウルメイワシ31 キビナゴ9	0.8	48	32	79	58	
	内之浦	1	6	内之浦沖	ウルメイワシ100	6.0	3	14	0	—	
定置網	内之浦	37	24		シラ21 カクチイワシ17 タチウオ14	—	44	27	42	66	
刺網	阿久根	47	10	甕 阿久根沖 長島 牛深沖	キビナゴ100	0.2	88	22	74	8	
カツオ竿釣・海外旋網	大	枕崎	0	—		—	0	—	0	—	
		小	0	—		—	0	—	0	—	
	海旋	枕崎	0	—		—	1	761	0	—	
		山川	0	—		—	0	—	0	—	
	海旋	1	103	カツオ小57 カツオ中39	102.5	1	802	0	—		

○パッチ網

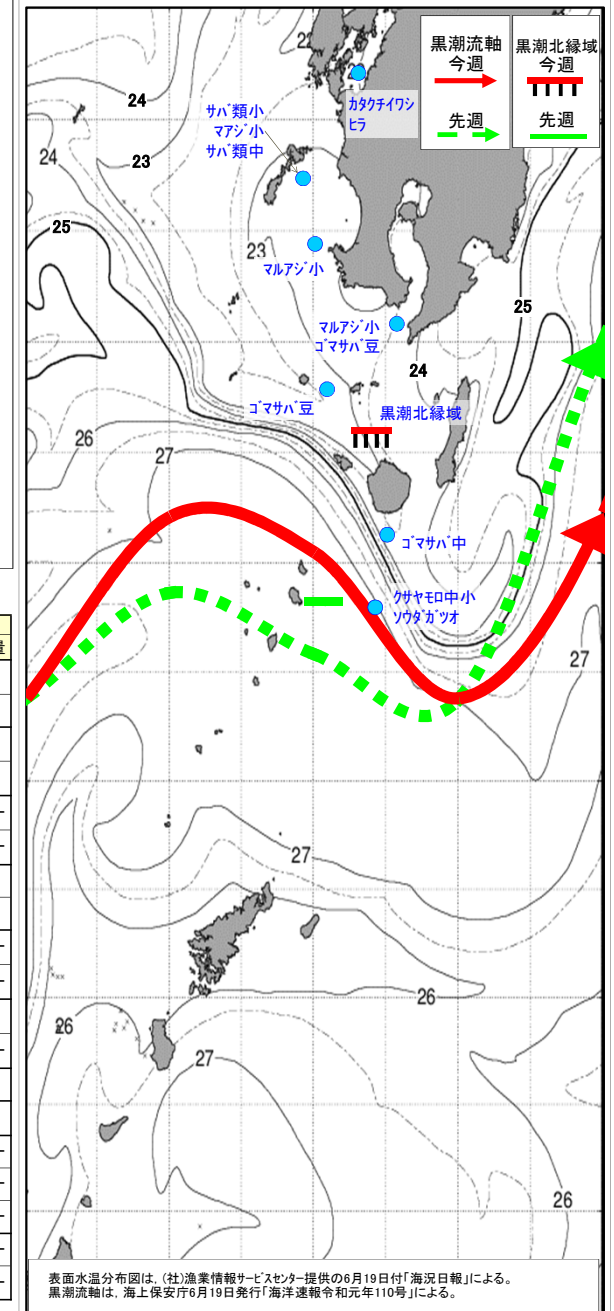
西薩海域では、生で1トン/統・日の漁。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、1日のみ小トビを60箱/統、中トビを50箱/統、青トビを15箱/統の漁。屋久島海域では、セトビを36～92箱/統・日、青トビを17～25箱/統・日、中トビを12～22箱/統・日の漁。

○その他

西薩海域では、かごでサハフク(200～300g)を300kg/隻・日の漁。ごち網でチダイ(200～300g)を8～50kg/隻・日、マダイ(0.8～2kg)を1～50kg/隻・日の漁。一本釣りでイサキ(300～500g)を25～50kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒケナガエビを50～200kg/隻・日の漁。一本釣りでイサキ(200～500g)を10～30kg/隻・日の漁。熊毛海域では、一本釣りでメダイ(2～7kg)を60～150kg/隻・日、アオダイ(0.6～1kg)を多い船で100kg/日、ゴマサハ(500～700g)を40～50尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの2～3日操業でソデイカ(胴体のみ11～12kg)を5～20ハイ/隻の漁。延縄の4日操業でメダイ(7kg)を80kg/隻、ムツ(1kg)を40kg/隻の漁。一本釣りの2日操業でタチウオ(1.5kg)を20kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の6月19日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁6月19日発行「海洋運報令和元年110号」による。